

矢作川・東海(恵南)豪雨10年事業

実施内容につきまして、以下の内容をパッケージで実施する中で、全体及び各個別段階でも広報することによりシンポジウムの告知にも活用します。

第1弾

8月9日(月)の西尾市を皮切りに、矢作川沿川市町村(7市2村)の役所ロビー等において、一般の方を対象に、当時の出水状況、被害状況、水防活動状況、災害対策状況等のパネル展示のリレー(パネルリレー)を実施します。パネル展示に際しては個人の方が保有する当時の被災写真などの複製をお願いする予定です。
なお、矢作川沿川の市町村の水防・防災訓練時においても、パネル展示とポンプ車等災害対策車の展示を実施します。

第2弾

東海(恵南)豪雨が再来したことを想定し、国交省、愛知県、豊田市で矢作川の出水時情報伝達訓練(洪水予測等)を8月25日(水)に実施します。従来から改善された点等の検証も行う予定です。

第3弾

当時被害のあった豊田市森町付近(矢作川左岸38.4km~38.5km付近)の川表において、8月27日(金)に国交省、愛知県建設業協会による災害時の堤防の応急復旧と排水ポンプ車等の稼働による災害対応訓練を実施します。

第4弾

東海(恵南)豪雨10年を契機として、治水のみならず利水、環境、土砂管理、維持管理、地域活性化等、矢作川流域圏の抱える諸課題解決のため、市民、学識経験者、行政による意見交換の場を作ることとし、矢作川流域圏懇談会を8月28日(土)に設立します。

第5弾

恵那市において、9月5日(日)の防災訓練に合わせ、防災イベントを企画中です。
その他、恵那市及び恵那建設業協会における事業内容についても検討中です。

第6弾

締めくくりとして、シンポジウム「矢作川・東海(恵南)豪雨から10年~洪水の教訓を次世代に伝える」を被災日と同日の9月11日(土)13時30分~16時に豊田市福祉センターで開催します。(当時の水防活動紹介、パネラー:学識者2名、豊田市長等)